

次号予告

特集 精神薄弱

- 精神薄弱の成因と診断 東大病院精神科 佐々木 正 美
 精神薄弱児における運動発達の遅れ 岸 本 敬 吉
 精神薄弱の理学療法 東大病院リハ部 菊 地 延 子
 精神薄弱の作業療法 東村山福祉園 浅 海 捷 司
 精薄児と職業的リハビリテーション 都心障センター 室 橋 正 明
 行動変容を中心としたアプローチ 国立特殊教育総合研究所 東 正
 精神薄弱の治療・ディケアーの経験から 東大病院精神科 太 田 昌 孝

メディカルプログレス

- 消化管ホルモンーモチリン 日 大 石 川 友 衛
 自閉症(4) 東 大 佐々木 正 美

Q and A Q : 小川恵子 A : 小林治人

編集後記

早朝の小鳥のさえずりに、戸外の自然の中に、春の足音がしきりに聞えている東京から、お手許に本号をお送り申しあげる。

南国北国の皆様は、既にどのような春を、又これから迎えられるのであろうか。やわらかな春を待ち望むその気持で、お届け前の印刷を待ちかねて、読ませて頂いた。

特集は、診療記録である。昭和48年7月に、臨床記録が掲載されてから、まもなく3年になる。POS、コンピューター方式による新しい試み、又記録内容の改善など、新しい職種の実りには、やはり月日の経過が大切である。

診療記録の書き方を、学生に教える以前に、学校では機会ある度に、文章の書き方

を指導している。高校までの教育では、国語の書き方に重点を置いていないのであろうか。

座談会には、多くの同感もあった。

初期には、カリキュラムに統計がなかった学校もある。私もその頃の卒業生で、講座に並ぶ数式にとまどい、これが初歩(!)と思いながら、線を引いてはくり返し読ませて頂く。

石川・佐々木両先生の、メディカルプログレスも楽しみに待っているもの。フォーラム、伊藤日出男氏の憂いは、学生を送り出す側でも、折々考えさせられていること。

本号の研究と報告には、関連したテーマの投稿があつてうれしい。研究と報告は、今後ぜひ充実させてゆきたいもの。皆様からの発表を心からお待ち申しあげる。

ごきげんよう。 (田村美枝子)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院長

五 味 重 春
府中リハビリ学院長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎医科大学学長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
都養育院リハビリ部

佐 藤 馨
神奈川リハセンター

鈴木 明子
府中リハビリ学院

谷 岡 淳
自治医科大学

田 村 美枝子
清瀬リハビリ学院

寺 山 久美子
都心障センター

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

明 石 謙

大 井 淑 雄

大 川 嗣 雄

大 橋 博

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

小 林 夏 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 剛

田 原 澄 彦

富 岡 詔 子

奈 良 勲

藤 沢 しげ子

藤 本 欽 也

前 田 守

松 本 妙 子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

横 山 巖

和 才 嘉 昭

(担当 細田・松橋)